

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和元年度第9回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和元年1月15日(水)		
開催場所	小金井市 中間処理場		
出席者	委員	<出席者：14名> 岡山会長・渡辺副会長・大江委員・石田委員・石原委員・土屋委員・星野委員・山田委員・黒須委員・斎藤委員・多田委員・波多野委員・林委員・岸野委員  <欠席者：1名> 堀越委員	
	事務局	小野ごみ対策課長・花野ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・大久保・高田・高花	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 会議録の確認について  2 報 告 (1) 小金井市一般廃棄物処理基本計画(案)に関するパブリック・コメントの実施について (2) 小金井市一般廃棄物処理基本計画(案)に関する説明会について (3) 浅川清流環境組合新可燃ごみ処理施設の試運転開始について  3 議 題 令和2年度小金井市一般廃棄物処理計画について  4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>これより令和元年度第9回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。欠席の連絡は入っていないので、2名の委員は遅れて来られると思う。</p> <p>それでは、本日の進行及び配布資料についての確認を事務局から願います。</p>	
大久保減量推進係長	(配布資料確認)	
岡山会長	続いて、第7回審議会の会議録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。	
多田委員	傍聴者欄の「0」が抜けている。	
岡山会長	他になければ、修正後、事務局にて公開手続きに入る。	続いて、小金井市一般廃棄物処理基本計画(案)に関するパブリックコメントと説明会の実施について、事務局から報告と受ける。
小野ごみ対策課長	(小金井市一般廃棄物処理基本計画(案)に関するパブリックコメントと説明会の実施について報告)	
岡山会長	事務局からの報告に対し、意見・質問はあるか。	
石田委員	住民説明の参加人数は毎回そのくらいなのか。	
小野ごみ対策課長	前は9名だった。参加者の少なさは、市民に広くお知らせするという点と反するので、重く受け止めている。パブリックコメントも、まだ2名からしか頂いていない。周知方法は課題である。	
林委員	パブリックコメントに先立って説明会を開催することはできないのか。	
小野ごみ対策課長	スケジュールの検討も行ったが、どうしてもこの時期に行わざるを得なかった。年度の中で諮問の時期もあり、答申も行わなければならないとなると、審議もそれだけタイトにな	

(審議過程) 主な発言等

	<p>る。</p> <p>1、2月にパブリックコメントを実施することも検討したが、そうすると頂いた意見への回答の報告が3月になってしまい、答申が難しくなる。そのため、パブリックコメントと説明会は、どうしても同時期になってしまう。</p>
多田委員	<p>なぜ年末年始をまたぐ繁忙時期にパブリックコメントを実施したのか。基本計画を改定することは昨年中に決定していたことであるから、4～9月までに計画を審議して、10～11月の2ヶ月を周知期間とし、12月に1か月かけてパブリックコメントをすれば、参加人数はもっと得られたと思う。</p>
岸野委員	<p>市がスケジュールを検討した上での結果なので、仕方が無いこととは思ふ。</p>
石田委員	<p>浅川清流環境組合の新可燃ごみ処理施設が稼動することによって、市民の意識が低下することが気がかりである。</p>
岡山会長	<p>アンケートの回答率が高かったので、全く関心がないわけではないと考えている。廃棄物処理基本計画については、パブリックコメントを実施しない市もある。あと10日で意見がもっと出てくるのではないかな。</p>
小野ごみ対策課長	<p>次に、浅川清流環境組合の新可燃ごみ処理施設の試運転が開始したので、花野ごみ処理施設担当課長から報告をさせていただく。</p>
花野ごみ処理施設担当課長	<p>(新可燃ごみ処理施設の試運転状況について説明)</p>
大江委員	<p>搬入車両台数は3市どの程度か。</p>
花野ごみ処理施設担当課長	<p>まだ情報があがってきていないため、不明である。浅川清流環境組合からは、想定より少ないと聞いている。</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺副会長	19日から3市のごみは全て搬入されているのか。
花野ごみ処理施設担当課長	小金井市の場合は、19日から家庭系ごみ、20日から事業系ごみを搬入している。試運転が目的の搬入であり、日野市、国分寺市は一部現行施設での処理も並行して行っている。
大江委員	年末年始にはごみ量が増えるが、炉が停止状態でもピットが一杯になることはないのか。
花野ごみ処理施設担当課長	現在試運転として2炉運転をしたり、全炉停止をしたりして、性能の確認を行っている。ピットが一杯になるようなことは無いように、浅川清流環境組合が慎重に進めている。
岡山会長	続いて、「令和2年度小金井市一般廃棄物処理計画の策定について」審議に入る。事務局より提出された資料について説明をお願いします。
大久保減量推進係長	(配布資料説明)
岡山会長	8ページ第2章に令和2年度の計画値を示しているが、下段の目標値に向かって減らすということである。説明文が「推計値」となっているが、「計画値」の方が良いのではないかと。
渡辺副会長	基本計画の目標値を元にしていて、「推計値」より「計画値」の方が良い。
林委員	推計値と書いた意図はあるのか。
大久保減量推進係長	基本計画の方で将来推計という言葉を使っているのだから、それに合わせて推計値とした。わかりづらいということであれば、基本計画の方で設定している計画値という言い方でも良いと考えている。
渡辺副会長	基本計画では「施策効果を見込んでいない単純推計」を「推計値」としているため、処理計画で「推計値」を使用してしまうと、減らす努力をしないのではないかと受け取られかねない。

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	い。  基本計画は11年間の長期計画のため、最終的な11年後の目標値が設定されるが、処理計画は基本的には単年度の計画であり、目標値を設定して粛々と処理をする、というものである。小金井市の場合は、減量努力を含めた目標となっているため推計といえは推計ではあるが、「計画値」とした方が自然である。
渡辺副会長	目標が1人1日当たりの量で設定されているのが基本計画であり、実際の量については処理計画に出てくる。
林委員	排出量368g/人・日は最新実績だが、P2からは読み取れない。
大久保減量推進係長	基本計画上では、燃やすごみから有害ごみまでを家庭系ごみと位置付けているためである。表記は見直す。
林委員	ごみ排出量についても、計画値の事業系燃やすごみ量が実績よりも2,000トン増えているが、P2とP8を見比べないとわからない。市民がそれを理解する必要があるかどうかはともかく、P2とP8を比較して、どの程度の努力が必要か分かると良いのではないか。
渡辺副会長	つまり、P2の上段の表では燃やすごみの30年度実績が11,631トン、P8の令和2年度では11,636トンなので5トン増えている。さらに、全体の処理量が合計量であるため、30年度実績26,768トンが令和2年度では28,864トンとなり、2,096トン増加する、ということが比較できるように、ということか。
林委員	その辺が、見た時に分かりやすいほうが良いのではないか。しかし、詳細を記載しても仕方ないとは思う。  もう1点、P8の平成30年度実績は368gであるが、基本計画案のP32では367gとなっている。集計誤差端数の問題か。

(審議過程) 主な発言等

小野ごみ対策課長	<p>端数処理の関係で368gに変更したが、基本計画案を修正したうえで、パブリックコメントと説明会を実施している。</p> <p>P8表記については、家庭系一般廃棄物と家庭系ごみの内訳が異なるので必要箇所に表記し、P2、P8については、「家庭系ごみ」は「家庭系一般廃棄物」に修正する。</p>
林委員	<p>P2の(2)について、事業系も含めて市民1人1日あたりとする意味があるのか。他市と比較できるのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>国の調査では事業系ごみも含まれているので、全国同じ尺度となっている。P8の目標値である家庭系ごみ排出量のほうが小金井市独自のものである。現時点では、事業系の総量がどのくらいになるかは推計値しかないので、浅川清流環境組合への搬入量実績を見るまでは、事業系を含めた目標設定はできないと考えている。</p>
大久保減量推進係長	<p>事業系の排出量のうち、現在把握できているのは、国分寺市への搬入量だけである。</p>
大江委員	<p>令和2年度は、事業系含めると一人当たり何gになるのか。</p>
大久保減量推進係長	<p>649g/人・日である。</p>
岡山会長	<p>多いように思うが。</p>
渡辺副会長	<p>プラごみと同量の事業系ごみが収集されると計画している。その分一人当たりが増加している。</p>
岡山会長	<p>平成30年度実績、資源含む全てで605gであった。それが650g程度となるので増えた印象がある。</p>
渡辺副会長	<p>P9(1)について、令和2年はこれをやるぞ、と感じはない気がするが、今後10年間ではなく令和2年にやる取組が表になっているという解釈で良いか。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	全てを網羅しているはずである。
山田委員	一般廃棄物のリサイクル率は、資源物とそれ以外で算出するのか。
小野ごみ対策課長	リサイクル率を算出するのは複雑である。どういう処理をしたかによって変わってくる。国基準では、例えば、焼却施設であれば、マテリアルリサイクルとケミカルリサイクルはリサイクル率に含めてよいとなっているが、サーマルリサイクルは除外されている。リサイクル率は一概に回答することはできない。
渡辺副会長	そこについては、プラスチックごみは一部がマテリアルリサイクル、一部がサーマルリサイクルとなるので、その配分が関わってくるということであろう。
岡山会長	スチール缶だけでも、売れた実績から回収率とリサイクル率が異なる数値となる。いろいろと取り扱いに注意が必要となる。
林委員	P 9 の 2 について、令和 2 年度の取り組みは以下の通りとありながら、まず初めに「表記について」が出てくるのが気になる。基本計画に立ち返る人はいないと思うので、少しは細かく記載してもいいと思うし、基本計画と重複してもいいと思うので、もう少し記載して欲しい。
大久保減量推進係長	平成 3 1 年度の処理計画を参考に作成しており、同じ流れになっている。ただ、皆様のご意見の通り、表以外に今年度の取組内容を記載するか検討させていただきたい。
林委員	毎年見るのは、その年度の処理計画である。基本計画では網羅されているかもしれないが、重複したとしても、今年度の重点取組が記載されていた方が良く思う。
岡山会長	P 3 からが現行施策となっている。新たな基本計画の初年度であるため、現状と計画 P 9 に差異が見られ内容を把握し易い

(審議過程) 主な発言等

渡辺副会長	<p>が、処理計画は、単年度計画としてこれ以後続いていくため、再来年度以降の処理計画では全く同じになってしまう。過不足、重点項目等だけで良いので、内容を記載したほうが良い。</p> <p>P 9であれば、年度目標を充実させることが挙げられると思う。</p>
林委員	<p>今回は、小金井市もプラスチックごみの削減を重点的に着手する等、市の意思がこもった文言が少しでもは入ればいい気がする。令和2年の潮流を鑑み、レジ袋有料化等、市の意思を盛り込んでどうか。</p>
石田委員	<p>項目の羅列となっているので、重点項目の趣旨を説明することで意思を伝えていくのはよい考えだと思う。</p>
林委員	<p>今回は特に、以前より内容を簡略化したため、説明不足の部分が発生している。見せ方に工夫が必要だと思う。現段階で修正をしないと、次回からこれを踏襲することになってしまう。</p>
岡山会長	<p>施策の展開ではあるが、令和2年度のところに今年度の課題や世情に合わせた内容を記載するということか。</p>
林委員	<p>冒頭の挨拶で、浅川清流環境組合で焼却が始まるのを受けて、可燃ごみもこれまで以上に減量していきたいところを盛り込んでから、施策の展開を図るといえるのはいかがか。来年度における減量に向けての意思を盛り込みたい。</p>
岡山会長	<p>浅川清流環境組合の初年度であること、オリンピック・パラリンピックの開催をうけて、イベントごみの削減等、温暖化防止のためプラスチックごみを出さない、等を謳う事は考えられる。</p>
岸野委員	<p>店頭回収も含まれているか。そういうところに指導をして頂ければ、多少は良くなるのではないか。</p>
岡山会長	<p>この後の評価、PDCAサイクルのC（評価）の部分と直結する部分である。今までは全ての項目を羅列して評価をしてい</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>たが、例えば、単年度計画である令和2年度に「プラスチックの3Rを進める」といった取り組みがあったとすると、評価としては、プラスチックごみの回収量が増えた、組成調査上焼却ごみからプラスチックごみが減少した、といった事柄が基準になると考えられる。</p>
渡辺副会長	<p>今年度は計画上具体的な数字が盛り込まれているが、来年度は「増加」などの表現になっている。これが、評価との関連性ということだと思う。</p>
岡山会長	<p>施策表の中の重点、強化などはある意味注釈のようなものなので、表の最後などでもよいかもしれない。P3も同様である。</p>
岸野委員	<p>P11の計画項目8のようなものを徹底してやってもらえると、プラスチックごみなどは相当減ると思う。</p> <p>くつ・かばんは、リサイクルセンターに持って行く人もいれば、リサイクルセンターから遠い所の人は、夏休み生ごみ投入の時に収集するなどしている。収集されたくつ・かばんは輸出されているそうだが、どういう経路を辿り処理されているのかといった情報があれば、一般市民の動機付けになる。夏休み生ごみ投入活動の報告会では、家の片づけに役に立った等の意見も聞く。市民に浸透していかないと回収量も増えない。</p>
渡辺副会長	<p>まさにそれが、重点項目になっている計画項目4の「見える化」であると思う。重点項目になっているものは、この表の前部分で具体的に表記するとよい。</p>
岡山会長	<p>7月からレジ袋が有料化になる。これも良い例である。</p>
渡辺副会長	<p>具体的に活動目標などを書いてしまうと、評価の時に難しくなってしまう恐れもある。</p>
岡山会長	<p>活動内容は変わらない。去年と今年実施事項が羅列されるのは、今後とあまり変わらないが、枕詞的に「今年はこれを目標とした」と記載することは考えられる。</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>表に記載された内容が少しでも具体化されていると良いと思う。</p> <p>ごみ量を把握することは大事だということは分かる。しかし年度成果や活動目標を確認したが、食品ロス削減目標に対して、対象ごみ量の把握だけでは対策とはなっていない。</p>
大久保減量推進係長	<p>次期基本計画では、11年間で削減を目指すとしているが、まずは令和2年度の目標として、湿ベースとして組成分析調査をしてこなかったものについて、まず「把握する」というのが第1ステップであると考え、それを記載している。</p>
林委員	<p>それは市が行う作業であって、具体的な取組例の中からは読み取れない。手順は重々承知しているが、学習機会、フードドライブ実施等で得られる成果にしたらいかがか。</p>
大久保減量推進係長	<p>市民目線での目標設定も必要と考えるということか。</p>
林委員	<p>そうである。例えば、満足度の把握とあるが、サンプルの範囲や回数をいくつに設定するのか。それをやり終えた後の満足度であると思う。まずは、現状の達成度はどのくらいなのか把握することなのではないか。</p> <p>活動目標の表現については議論の余地があると感じる。</p>
大久保減量推進係長	<p>従前は、実施回数を指標にしていた。例えば10回、20回実施した回数が指標となるのかと言えば、それは違うと思う。最終的な段階を指標とすれば、成果が明確になるのではないかと考え、提案させていただいた。</p>
林委員	<p>評価としては回数と効果の2つある。回数は、まず80%程度の水準が必要であると考え。</p>
大久保減量推進係長	<p>周りの人たちにフィードバックされているかどうかを図ることが、行政としては必要であると思う。回数が増えると情報の拡散率は上がるが、内容自体の質を上げて、いかにフィードバックして頂けるのかということを考えていきたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

石原委員	<p>施策については、年度単位で明文化して入れたほうが良い。</p> <p>浅川清流環境組合のことも含め、市民のモチベーション持続を図るために、周知宣伝活動したほうが良い。</p> <p>食品ロスについては、実際のところ今まで量っていないので、今年度は量ることが重要であり、今の案で良いと思う。</p>
渡辺副会長	<p>回数を目標にする必要はない。前年度の詳細は、データとして記載するのがよいかと思う。</p>
大久保減量推進係長	<p>P D C Aサイクルが今の話と重複するので、そちらの説明をしたい。前回の審議会で、活動指標について具体的な内容が無く分かりづらい、といったところを踏まえ、例として食品ロスでシートを作成してみたので、これについて説明させていただきたい。</p>
コンサルタント	<p>(資料の説明)</p>
林委員	<p>示された案では、市の職員の負担が大きくなると思う。</p> <p>普通はP（計画）に対するD（行動）である。P（計画）は少し大きな括りで、D（行動）で市がやったことを全部詳細記述する。それに対して、C（評価）やA（改善）がある体系になると思う。P（計画）として食品ロス削減というテーマがあったら、どうアプローチするかP（計画）の分解があって、それに相対するD（行動）が入っていくのではないかと。</p> <p>食品ロス削減施策は実施事項が複数のため、記載が多くなるが、例えば「くつ・かばん類有効活用の推進」の場合、具体的な取り組み例として「拠点回収実施」とあるが、D（行動）、C（評価）、A（改善）を記述するとなると、何をどれくらい記載できるのか。「くつかばん類有効活用の推進」には何をすべきか。まず初めにP（計画）を議論する必要がある。</p>
岡山会長	<p>前回は全項目を羅列しており、数が多すぎた。</p> <p>今回は案として、最初に「食べ残しを中心とした食品ロスの削減」を記載した。食品ロスについてのD（行動）はたくさんあるが、施策によっては、やることD（行動）が1つ、C（評価）も1つ、というものもある。</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>1つのテーマに対して、ブレインストーミング等で意見を出し合い、具体案を目標として掲げて、実施できたかどうか評価をするというやり方もある。例えば、くつ・かばん類の拠点回収は回収方法が決まっており、それ以上発展しない。市職員がいなくても、公民館に回収ボックスを設置するアイデア等、様々なアプローチが発想されると思うので、それを目標に掲げて、活動後に評価をする。</p>
大久保減量推進係長	<p>P（計画）は、基本計画で書かれている大枠を落とし込んでいる。あくまで提案だが、これまですべての項目についてチェックしていただいているというところで、我々だけではなく、審議会委員の皆様にも時間を掛け、負担をお願いしている。処理計画の中で重点項目については具体的表現を、とのご意見も頂いたので、例えばそこで記載した内容をPDCAサイクルで重点的に回す方法もあるかと思う。</p>
林委員	<p>やり方はこういうやり方でもいいと思うが、食品ロスではなく、もっとシンプルな施策のときはどう展開できるのか。</p>
岡山会長	<p>普及啓発系の効果を測ることは難しく、「くつ・かばん類」についても効果的にごみの減量につながっているかどうかを客観的に見るためには、組成分析調査を実施するしかないと思っている。ただ、毎年実施することはできないため、実際には効果がよくわからないのが実情である。仮に継続して実施することになった場合、その調査で可燃・不燃ごみにくつ・かばんが多く入っていれば、効率的で利便性の高い分別方法を検討する。これがC（評価）であり、A（改善）であると思う。全体を見渡すと、実行すべき案が沢山あるのに気づかされるが、それらを全部実施することは難しいため、評価し易く、実施し易い調査で効果を測ることが良いと思う。</p> <p>いろいろな思いはあるが、計画の目標に立ち戻ると、分別効果を上げ、可燃ごみを減量することである。</p>
林委員	<p>くつ・かばん類の回収量の増加とあるが、増加を目標とするのであれば、実施方法を変えなければ、となる。実施方法を変えるプロセスは、今、ここには入っていない。くつ・かばん類の回収量が、どれだけごみの減量に寄与しているかということ</p>

(審議過程) 主な発言等

石田委員	<p>が不明なのであれば、回収量の増加を指標にしないほうが良いのではないかと。</p> <p>重点に限定して、その代わり丁寧に実施するほうが良いのではないかと。重要であっても定量化できなければ表現を変えてみても良いと思う。</p>
小野ごみ対策課長	<p>重点項目のみであれば実施可能かもしれない。</p>
林委員	<p>実際の進捗状況を把握できたなら、審議会の委員としても手ごたえが感じられる。</p>
渡辺副会長	<p>目標設定も実施計画に反映することができる。これだけD(行動)の項目が出せるのであれば、進捗状況を把握できる。P3とP9で、同じ内容を載せる必要がなくなる。</p>
林委員	<p>処理計画P10計画項目2の重点項目における「年度の成果・活動目標」が空白になっている。難しい内容ではあるが、少し無理をしてでも何か議論して、指標を提示できないか。</p>
大久保減量推進係長	<p>市民がどうするというわけでもないのですが、評価としては空白としている。市としては取り組まなければならない。</p>
林委員	<p>粗大ごみのリユースルート、リユース品範囲を明確化するなどではいかがか。</p>
大久保減量推進係長	<p>例えば新たなルート構築であるといったことが指標として出てくる可能性はある。</p>
林委員	<p>今挙げて頂いたものを記載して頂き、それができたかできなかったかをPDCAシートで確認する。具体性がないとD(行動)そのものが書ききれないのではないかと。</p>
岡山会長	<p>例えば、計画項目2のリユースについてだと、市として何ができるかということである。くつ・かばん類が可燃・不燃ごみからどれだけ減ったか、ということだけでも評価は可能なのではないかと。くつ・かばん類、リユース食器の場合は、ある意味</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>これがD（行動）であるといえる。</p> <p>リユースについては、フリマアプリなどで処分している人も多いと思うが、市が把握したごみでしか測れないため無理がある。そうすると、リユース食器がどれくらい貸し出されたか、イベントごみ減量など、評価できるものは2つくらいしかないと思っており、重点項目に対するD（行動）を全て記載して評価するというよりは、大きな視点で見て単純化してもよいかと思う。</p>
渡辺副会長	<p>取り組み内容ではなく計画項目でPDCAサイクルを実施するというのも一つのやり方であると思う。</p>
岡山会長	<p>表中の「満足度」については、どちらかというところ普及啓発の評価になっており、全てに関わっていると思う。計画項目の4と5は、ソフト面であり測りづらい部分である。ここについては受講生の評価が一番適切かと思う。職員には業務内容を日誌化し、アンケートとその集計をしてもらうなどである。</p>
渡辺副会長	<p>活動の評価なのか、成果の評価なのかが錯綜している。4、5は活動の評価になるのかもしれない。</p>
岡山会長	<p>アンケートで満足度の評価をとることが1つ。あとは回数を行ってアンケートの精度を上げ、事業の効果を図る。</p>
渡辺副会長	<p>D（行動）をたくさん書いてしまうと活動の評価になってしまう。ただ、やったことの記録は意味があるとは思う。</p>
岡山会長	<p>実施事項が増えると、活動が不自由になるため、全てを網羅することは避けたい。改善点があるのであれば、基本的にはごみ減量にどれだけ資することができたかを反映することが重要である。</p>
石原委員	<p>C（評価）はP（計画）に戻して全体に対して把握するのであって、それぞれD（行動）に対してやるのは本末転倒である。</p> <p>やったことだけ言うような社会風潮があるが、D（行動）はもう少し絞り込んだほうが良い。記録は全然問題ないが、C（評</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>価)のためにはもっと絞り込むべきである。</p> <p>D (行動) は明確に記載して頂き、活動、成果いずれでも構わないが、全体に対して評価をしてチェックする。一度サイクルを回してみる。そうしないと全てをやらなければならないことになる。</p>
林委員	<p>C (評価) は1つ1つ行う必要はないが、D (行動) の記録は必要である。C (評価) は総合的に見て達成できたか、問題を洗い出し、次のアクションに繋げる。D (行動) は市が実施して、C (評価) では課全体としてチェックして、A (改善) を出して頂く。その後、C (評価) とA (改善) について審議会でも意見を言うというのが良いのではないか。</p>
渡辺副会長	<p>今までの話では、C (評価) はD (行動) に対応していなくても良い。D (行動) が足りないというC (評価) もあり得るということになる。</p>
石田委員	<p>C (評価) がD (行動) のどこに対応しているかを書いたうえでならできると思う。行政側のC (評価) なくして審議会で評価することは難しい。</p> <p>D (行動) が多ければそれで良いとなってしまっていて、本当に必要なものが抜けてしまっていては意味がない。全てを対象とすれば効果が出るという訳ではないので、まとめても良いと思うが、その場合、まとめ方が重要になる。</p>
大久保減量推進係長	<p>そのように実施するのであれば、市が実施するのはD (行動) に対するC (評価) なので、まとめるのではなくイコールとしていただきたい。</p> <p>もちろん最終的な申し送りとして皆さまに評価していただくものは、全てに対しての評価でなくとも良く、評価するところと評価しないところがあっても良い。評価されたところや、次の計画に反映しなければならないところは、そこから抽出する。全てに評価をお願いすることはしないが、課題や評価事項はご提示頂きたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺副会長	<p>それでいうと、目標とすることごみ減量化ではなく、何をやったかに対する評価になってしまう。</p>
岡山会長	<p>小金井市の目標は「ごみゼロタウン小金井」を目指すことであり、可燃ごみをいかに減らすかということでもある。</p> <p>可燃ごみを減らす手段はいろいろあるが、その中でも行政が容易に実施できるのは、資源に回していくことである。リサイクル対象として生ごみの記載しかない理由は、資源化が難しく、かつ一番量が多いからである。</p> <p>最後のページを見ていただくとおわかりのように、小金井市では資源化品目がたくさんある。細かいことを考えず、資源物の全回収量と総ごみ量から単純に割り出せばリサイクル率を出すことができる。計画項目3の目標に記載はないが、その率を上げることが目標だということもあるだろうし、さらに項目別で出すこともできる。それらの中で課題があるとしたら、生ごみなのか、それとも紙なのかといったことがはっきり見えてきて、それが施策になるのだと思う。</p>
林委員	<p>リサイクルとしてプラスチックや廃食油も盛り込みたかった。</p>
岡山会長	<p>資源回収しているものは全てきれいに数値が出てくる。これは評価できる内容である。</p> <p>可燃の中は水分を多く含んでいるので重量がある。それに比べるとプラスチックは軽いので重量としてはあがってこないが、温暖化の時代にできるだけ焼却に回さないのを目標とするのであれば、資源プラスチック収集量の増加と、可燃ごみ混入削減の2点での評価もありえる。</p>
林委員	<p>「年度の成果・活動目標」にプラスチックごみ量を盛り込んではどうか。</p>
岡山会長	<p>「資源物量全項目数値の変化」でよいと思う。</p>
林委員	<p>プラごみゼロ宣言をする提案が市議会に出ている。</p> <p>プラごみゼロ宣言をしている自治体もあり、市としては予算</p>

(審議過程) 主な発言等

石原委員	<p>もそれほどかからない。宣言をすることにより自らを改める機会となるのではないか。小金井市の文化として明文化するのもよいかと思う。</p> <p>小金井にとってごみ減量は市民の文化であり、明文化しても良いと思う。</p>
岡山会長	<p>分別が随分と叫ばれても、10年も経つと平常に戻ってしまい忘れられてしまう。レジ袋に関しては、国が有料化を始めることが分かっていたので、プラごみゼロ宣言の提案を取り下げた自治体もかなりある。取組として、あまり実施することがないのであるならば、レジ袋の使いまわしで十分である。</p>
多田委員	<p>文言を挿入するとしたらP9とP1のどちらに記載するか。</p>
岡山会長	<p>P9でいいのでは。ごみ量などは毎年数字が上がってくるので、その中で評価できるものも重要なのではないか。リサイクル率は70～80%で足踏みしてしまうのが現状のようである。</p>
渡辺副会長	<p>他自治体では、目標にする指標、モニタリングする指標があり、毎年統計データを棒グラフにして結果を見ている。P3は実際に何を実施したか、P9は実施計画、をベースにしたほうがわかりやすいと思う。</p>
岡山会長	<p>施策の展開、文言については次回見ていただくこととして、基本的には令和2年度にやることは重点課題からいくつか取り上げるということで良いか。プラスチックごみ、イベントごみに焦点をあてたい。</p>
林委員	<p>表の中にプラスチックが対象となり得る箇所を作りたい。リサイクルルートの構築の箇所でも構わない。プラスチックごみに注力するのであれば、具体的に何で確認するか。今後の展開につながるようにしたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	重点としてはプラごみ減量推進と書いて、評価するときには3のリサイクルの箇所を進捗評価を行う。
林委員	例えば、ペットボトルリサイクル推進を表題とするならば、リサイクルの拡大・ルート構築・範囲の拡大を盛り込みたい。
岡山会長	小金井はリサイクルを拡大したいのではなく、資源ごみを減らしたいと言われたことがある。
林委員	状況は10年前とは違う。
渡辺副会長	一般的にいうと小金井は細分化した分別を行っている。品目を増やすより、分別を徹底して頂くと良い。
林委員	陶磁器リサイクルもある。これについては、10年来、市民からのリクエストが続いている。
岡山会長	評価を見据えた項目について意見を頂きたい。詳細に渡る議論が続いたが、計画の目指す所について、具体的に評価ができ、次期審議会に引き継げる内容をご検討頂きたい。
小野ごみ対策課長	P D C AサイクルのP（計画）がそのまま実施計画の活動目標に当てはまることを考えており、P D C Aの手法にご賛同頂けないと、実施計画記載内容が変わってきてしまう。次回には、まとめたい。今回出しているD（行動）とC（評価）は必須だと考えている。
大久保減量推進係長	P D C Aのシートは、全項目の実施は難しいが、重点に絞れば可能であると思う。
岡山会長	ここに記載しているのは、昨年実施した内容である。この評価をするために、誰がどのように実施したのか膨大な記述データが必要となり負担となる。今回に関しても、重点項目だけでA4で9枚の資料となる。

(審議過程) 主な発言等

林委員	項目によっては記載の長短があると思われる。対応できるのではないか。
石原委員	D（行動）とC（評価）は1対1の対応になる。C（評価）を総括し、P（計画）に対して記載があればそれを我々が評価するというのではどうか。
石田委員	D（行動）とC（評価）は今まで担当者が評価していた。
小野ごみ対策課長	従来手法では評価とはならないと考えている。
林委員	C（評価）について、D（行動）、A（改善）に入ってもいい項目がある。 無理をして書き込んでいるが、1対1が必要なものであるのか。委員が納得できる形であれば良い。
大久保減量推進係長	本日提示したのはサンプルであり、精査していきたい。
小野ごみ対策課長	首尾・不首尾を明らかにするのがD（行動）で、評価するのがC（評価）となり、記載方法は変わる。
岡山会長	最後に、その他として事務局から何か報告があればお願いします。
大久保減量推進係長	次回日程は、2月19日（水曜日）午後3時から、中間処理場で開催を予定している。 本日の会議録については、第8回審議会議事録とあわせて報告させて頂く。
岡山会長	本日は以上をもって、審議会を終了する。